

奈良県教育委員会 殿

令和2年 月 日

令和2年度 奈良県高校生等奨学給付金申請書

授業料以外の教育に必要な経費に活用するため、奈良県高校生等奨学給付金の給付を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

ふりがな		申請者の住所 〒奈良県 連絡先電話番号(- -)				
申請者(保護者等)						
高校生等との関係	親権者・未成年後見人・主たる生計維持者・本人・その他()					
対象となる高校生等	ふりがな	生年月日	昭和 平成	年	月	日(歳)
	生徒氏名	入学年月		年 月		
	在学する学校名	国立・都道府県立・市町村立		(全日制・通信制・定時制 課程) (学校) (学科)		
過去の高等学校等における在学期間	学校名	立	年 月 日	学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数	
	学校名	立	年 月 日	学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数	

【1】【2】および裏面の【3】～【6】のすべてに記入してください

【1】 確認事項

下記のすべての事項について確認のうえ、□にレ点をつけて記名・押印をしてください。

1. 本申請書の記載内容に相違のないことを誓約します。
2. 申請にあたり以下の項目について了承します。
- (1) 生活保護の受給状況について、住所地を所轄する市町村担当課等に照会する場合があること。
- (2) 申請書に虚偽の記載を行うことにより、本来受けることができない給付金の給付を受けた場合、給付決定を取り消し、奈良県の求めに従い、その全額を直ちに返還しなければならないこと。
3. 私は、奈良県以外の都道府県に高校生等奨学給付金の申請は行っておりません。
4. この申請の対象となる高校生等は、児童福祉法による児童入所施設措置費(見学旅費又は特別育成費(母子生活支援施設の高中生等を除く))の支弁対象ではありません。
5. 高校生等奨学給付金をこれまでに受給した回数は、()回です。

令和2年 月 日

申請者
(保護者等)

印

【2】 申請区分について

申請される世帯区分に○を記入してください。(1箇所のみ記入してください。)

申請	世帯区分
①	生活保護(生業扶助)受給世帯
②	保護者等全員の道府県民税所得割及び市町村民税所得割が非課税である世帯(①と③を除く)
③	保護者等全員の道府県民税所得割及び市町村民税所得割が非課税である世帯で、15歳(中学生を除く)以上23歳未満の扶養されている兄・姉・弟・妹がいる2人目以降の高校生等の世帯(①と②を除く) ※1人目の高校生等は②の給付額となります。

【3】生活保護の受給状況について

基準日(令和2年7月1日)現在の世帯について、該当するものを選択してください。

<input type="checkbox"/>	生活保護(生業扶助)を受給しています。 →「生活保護受給証明書」を添付します。【2】で①を選ばれた方の申請書の記入はここまでです。
<input type="checkbox"/>	生活保護(生業扶助)を受給していません。 →【2】で②を選ばれた方は下の【4】までを記入、【2】で③を選ばれた方は下の【4】【5】【6】までを記入してください。

【4】保護者等の所得の状況について

次の者の課税証明書等を提出します。①から⑤の中から、該当するものを選択してください。

①	<input type="checkbox"/>	親権者(父と母)2名分 ※配偶者が扶養控除により、非課税の場合も2名分の課税証明書等の提出が必要(省略不可)
②	<input type="checkbox"/>	親権者(父又は母)1名分 (親権者が、一時的に親権を行う児童相談所長、児童福祉施設の長である場合は、その者を除く。)・離婚、死別等により親権者が1人の場合 ←R2.7.1以前に離婚・死別等により親権者が父のみ又は母のみの場合 ・親権者が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の課税証明書等を提出できない場合 (例)DV等により一方の証明書等が添付できない場合 等
③	<input type="checkbox"/>	未成年後見人()名分 ←親権者がおらず、未成年後見人が保護者である場合(親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合(未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分))※未成年後見人が、法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除く。
④	<input type="checkbox"/>	生徒の生計をその収入により維持している者(主たる生計維持者) 1名分 ・親権者又は未成年後見人が存在しない場合 (例)祖父母や兄弟等に養育されている場合 ・成人に達しているが主たる生計維持者が存在する場合 等 (例)生徒が成人で、かつ両親・配偶者等の扶養になっている場合
⑤	<input type="checkbox"/>	生徒本人 親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合であり、成人に達している場合 等

【5】オンライン学習に係る通信費相当額の給付について(令和2年度における特例措置)

【3】で「生活保護(生業扶助)を受給していません。」を選ばれた方のみ確認のうえ、□にレ点をつけてください。
※通信費に充てる支給分について生活保護(生業扶助)受給世帯には、生活保護(生業扶助)により措置されることになっています。

<input type="checkbox"/>	私は家庭でのオンライン学習に係る通信費に充てるため、高校生等奨学給付金のうち令和2年度に特例的措置として設けられたオンライン学習に係る通信費相当額の支給を希望し、私はその給付金の趣旨に沿って活用することを誓約します。
--------------------------	--

【6】扶養親族の状況について令和2年7月1日現在の、世帯全員の状況を記入してください。

- 続柄は、対象となる高校生等を基準としてください。
- 【2】で③区分を選ばれた方のみ記入して下さい。

続柄	氏名	生年月日	年齢	職業又は学校名・学年	扶養されている兄弟姉妹※に○をして下さい。
対象となる生徒本人		S・H・R / /			
		S・H・R / /			
		S・H・R / /			
		S・H・R / /			
		S・H・R / /			
		S・H・R / /			
		S・H・R / /			

※対象は平成9年7月3日から平成17年4月1日生まれの方(15歳(中学生を除く)以上23歳未満)です。

<学校記入欄>

上記の生徒は、基準日(令和2年7月1日)に、本校第_____学年に在学し、
就学支援金または学び直し支援金の受給資格を有し、休学していないことを証明します。

令和2年 月 日

学校名

学校長名



学校担当者	問い合わせ電話番号
-------	-----------